

おおづまち議会だより

# OZU

2021  
97号  
9月定例会

## CONTENTS

- 議員の視点(本会議での質疑) …………… 3
- 追跡どうなった一般質問の行方 …………… 18

本会議動画配信  
はじめました



東小学校の児童とキジ放鳥(10月2日)

## ① 本会議動画配信がリニューアルされました

- ・録画配信のみとなっていた議事の様子がLIVEでも配信されるようになりました。
- ・映像の検索が「会議名・議員名・用語」で検索できるようになりました。

## ② 傍聴がしやすい環境を整備しました



- ・親子席を設け、子育て世代も傍聴しやすくなりました。
- ・4階展望ロビーや1階のモニターでも議会傍聴が出来ます。
- ・展望ロビーにWi-fiも整備されました。

次回定例会は **12月9日(木) 開催予定** 日程 12月9日(木)~16日(木) (予定)  
会場 新庁舎 4階 議場  
(日程は変更になる場合があります)

### 議会広報編集特別委員会

- 議長・桐原 則雄
- 発行責任者
- 委員
- 大村 裕一郎
- 田代 元氣
- 時松 智弘
- 豊瀬 和久
- 副委員長
- 委員
- 三宮 美香

### 編集後記

▼2020東京オリンピック・パラリンピックが閉幕。世界のアスリートの躍動と爽やかな風と感動が駆け抜けました。▼コロナ禍の困難な状況の中円滑に開催されたことは日本人間らしい生活を取り戻すための挑戦の成果であると思います。▼大津町議会もそれぞれの視点・論点をもとに問題課題に挑み頑張っております。是非お目通し下さい。

編集委員 時松智弘

令和3年11月1日 第97号 発行/熊本県菊池郡大津町議会  
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/創文印刷  
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

↓ 皆さまの声をお寄せください!  
切り取ってお出しいただき

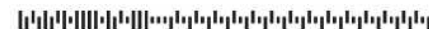
郵便はがき



8 6 9 - 1 2 9 0

(受取人)  
大津町大字大津1 2 3 3番地  
大津町役場 議会事務局  
議会広報編集特別委員会 行

差出有効期間  
2022年5月14  
日まで  
(切手貼らずにお願いします)



ふりがな  
ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく際に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はこちらにご記入ください。

□□□-□□□□

ご住所

お電話 ( ) - ( ) - ( )

FONT  
鳥やうみまの森に  
くいの  
バーナル  
デザイン  
を  
採用  
して  
いま

この議会だよりは  
リサイクル推進のため  
再生紙を利用しています。

### 議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富一	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貴	時松 智弘	田代 元氣	大村裕一郎	賛成(○)	反対(●)
特別職の職員等で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
一般会計歳入歳出決算の認定	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。  
 ■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 早は早退  
 その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

## 議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)

**豊瀬 和久議員**  
 町営住宅が空き家なのに入居できなかったり、草刈り等の管理で地元住民にご迷惑をかけている。  
 早急に修繕をするべきではないか。  
 答 今回の補正予算で4戸の空き家の修繕を行う。その他の空き家に関しては長寿命化計画の中で検討する。

**佐藤 真二議員**  
 保育園整備の設計変更がされているが変更の内容はどのようなものか。また、子ども・子育て支援計画との整合性は取れているのか。  
 答 木造から鉄骨造りに設計変更をした。整合性はとれているが、現状と計画に乖離がみられるため、子ども・子育て会議における協議を踏まえ、見直しを行う予定。

**永田 和彦議員**  
 修学旅行のキャンセル料について、契約内容や判断時期など負担を少なくするための見直しや改善の余地はあるのか。  
 答 各学校でキャンセル料が発生するタイミングとキャンセル料の割合が異なる。情報を共有しながらキャンセル料が発生しないよう調整をしていきたい。

**荒木 俊彦議員**  
 財産売り払い収入が計上されているが、財産の処分管理が適切に行われたのかについて監査の対象にならなかったのか。  
 答 金額は議会で議決されているので監査としては支障なしと判断した。金額が妥当かどうかについては監査の権限ではない。

**時松 智弘議員**  
 公立保育の再編検討委員の構成はどのような方々か。また、町の方針は園児数の減少から統廃合・廃止するのか人口流入に備え保持していくのか。  
 答 子ども・子育て会議を中心として当事者である公立園の保護者の方や区長や民生委員等を交え検討する。方針についてはゼロベースで議論を進めていく。

**山部 良二議員**  
 コロナ禍でストレスの感じ方が今までとは違うと思うが、教職員のストレスチェックで高いストレスがあった方への対応はどのようにしているのか。  
 答 高ストレスの方が8%ほどいたが、高ストレスによる面談を希望される方はいなかった。

# 誰もが住みたくなるまちへ

大津町9月定例会を新型コロナウイルス感染症対策を行った上で9月6日から9月17日までの12日間の会期で開きました。

子育て世代包括支援センター設置に伴う支援事業などの新規事業や一般会計補正予算など20議案を審議し、可決しました。

令和2年度一般会計・特別会計などの8会計では審議の結果、すべての決算を認定しました。

一般質問には、11人が登壇しました。新型コロナウイルス感染症への対応として一般質問の時間を通常の60分から30分としています。

今回より本会議・一般質問共にライブ配信を始めしており、録画配信も行っています。



### 歳入の状況過去5年ごとの推移

※歳入とは、大津町に入ってくるお金で、町民の皆さんが大津町に納める税金や国、県から交付される支出金などがあります。

決算について詳しくは  
 広報おおつ11月号  
 9~11ページ

項目	説明	令和2年度	平成27年度	平成22年度
自主財源	自主的に徴収できる財源 町税・使用料手数料・繰入金など	88億9,800万円 39%	68億9,800万円 49.5%	56億9,100万円 50.8%
依存財源	国から交付を受けたり、銀行などから借り入れる 交付金・国県支出金・町債など	140億5,400万円 61%	70億2,900万円 50.5%	55億1,300万円 49.2%
歳入総額		229億5,200万円	139億2,700万円	112億400万円

### 財政指標の推移

財政状況は県内他市町村と比べても良好です。  
 財政力指数は県内45市町村では菊陽町に次いで2番目に高い数字でした。しかし、借金を抑え、さらに町民サービスを低下させないためには、財源の創出が不可欠です。

項目(一言で言えば)	令和2年度	平成27年度	平成22年度
財政力指数(財政力)	0.77	0.70	0.91
経常収支比率(弾力性)	88.7%	82.7%	81.5%
実質公債費比率(借金割合)	8.0%	11.0%	12.8%
将来負担比率(財政圧迫度)	—	—	31.6%

1を超えると不交付団体  
 70~80%が標準

# 向上する住民の生活 更なる地域振興を



未活用の町有地

## 公有財産処分の ルール策定の進捗は

◎ 昨年度、町の財産処分に  
ついてルール作りを検討する  
とあったが状況は。

また、重要なのは議会に対  
する説明責任の徹底とまちづ  
くり基本条例の遵守であり早  
急にまとめてほしい。

◎ 以前より財産処分の方針  
等を準備しており、現在具体  
的な様式を含め検討してい  
るところだ。

◎ 議会より申し入れがあった  
説明責任は肝に銘じ履行した  
い。

## 亡くなった方の情報と 個人情報保護の整合は

◎ 個人情報保護法では亡く  
なった方の情報は対象から外れ  
るが、情報を提供する側と知  
りたい側よりも故人の家族の  
心情と意見を尊重するのが望  
ましいと思うがどうか。

◎ 町としてはどのような情報  
の取り扱いとしているか。

◎ 役場に問い合わせがあっ  
た場合、遺族に新聞広報等に  
掲載してよいと同意をもらっ  
た場合のみ情報提供を行って  
いる。必要性を含め、今後課  
題を整理したい。



## 選挙公営制度周知と 選挙費用の削減は

◎ 選挙公営制度の総括とし  
て町長・町議選立候補者説明  
会の実施時期を年末より前に  
実施することで町内業者への  
負担を軽くできないか。

また、今回の実績をもとに  
費用削減ができないか。

◎ 年末年始を挟んでの選挙  
準備は事業者の負担も大きい  
ため可能な範囲で対応したい。  
立候補予定者の関係書類の  
押印廃止や事務の簡素化、一  
人当たりの選挙費用の積算を  
含め整理しながら対応する。

◎ 意見 お金のかからない明るい  
選挙制度になるようお願いする。

# 適正な予算の執行と それらがあいまった

## 総務 委員会 レポート



クリーンの森合志への搬入状況

## ごみ収集運搬のルート 再検討については

◎ 家庭からのごみの収集運  
搬体制は適切か。曜日ごとに回  
収ルートを町が定めていると  
思うが、人口増加や収集距離  
の効率化は計画されているか。

◎ 業務委託を始めた当初の  
計画から変更が無く、人口増  
加地域と減少地域のバランスが  
崩れてきていると認識している。  
収集地区の入れ替えなどの  
見直しを検討し、事業者の協  
力を頂いて協議をしなければ  
ならない。

## 賞味期限が迫った備蓄 食料の活用は



大津町の備蓄倉庫

◎ 災害対応の備蓄食料の  
管理はどのようになっている  
か。

◎ また期限が迫った備蓄食  
料の活用でフードドライブ  
やアルファ米試食などの企  
画は。

◎ 備蓄食料の賞味期限は5  
年程度であり、防災訓練で期  
限が迫ったものを配布してい  
る。町は備蓄計画のもと常時6  
万食の保有を目標にし毎年1  
万2千食を購入し更新してい  
る。

◎ 今後は配布だけでなく住民  
が試食できる機会を防災訓練  
等で作って行く。

## 職員駐車場の借上げは 公費で負担すべきか

◎ 職員駐車場借り上げ料が  
計上されている。駐車場は各  
個人が準備すべきもので町が  
費用負担すべきものなのか。  
職員からの料金徴収も含め  
どのように考えるか。

◎ 職員駐車場は以前から不  
足をしており、庁舎近隣の土  
地を借りて確保運用している。  
町内にはバスや鉄道路線も  
あるが、利便性から車で通勤  
せざるを得ない職員もいる。

◎ 現在、職員からは使用料と  
して月千円を徴収している。

◎ 新庁舎の利用開始に伴い、  
役場機能の集約から利用され  
る住民の利便性も含め今後は  
庁舎の全体的な駐車場計画に  
ついて検討する。

◎ 意見 一般企業では、自社の  
職員が通勤で利用する駐車場  
は確保し、無料で利用させて  
いる。

# 一体となった 経済活動支援を

## 企業誘致の活動は

Q 企業誘致活動は県下の競争をどのようにしているのか。

A 大津町としては、他の自治体に参加されないセミナーにも積極的に参加し町の優位性をPRするチラシを配布し、一歩先行く誘致活動を進めていく。



## 公共Wi-Fiについて



Q 観光を充実させるためにはWi-Fi整備が重要事項となっているが進んでいない。Wi-Fiが整備されると人が集まり情報が伝わる。効果を検証するのが難しいかもしれないがインフラ整備として投資していくべきではないか。

A Wi-Fi整備については以前から話が出ている。特にインバウンド需要が見込まれる場合は外国人の方はWi-Fiがないと苦労されている。協議しながら観光面でできることを検討していく。

## 調整池の安全対策は

Q 調整池の土砂を取り除かなかつた場合どうなるのか。

A 調整能力を保つためには泥水等の流入量や排出機能の確認が必要であり、10年周期で、約40箇所を計画的に取り除いている状況である。期間は10年が妥当だと考えている。

Q 調整池が溢れた事例はあるのか。

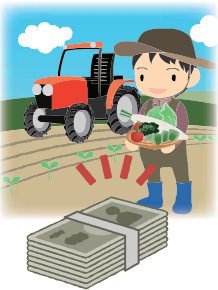
A いくつか発生した事例があるので、住民の不安を払拭できるように基本的な対策を考えたい。



町内の調整池

# 農・商・工・観 力強い

## 経済建設 委員会 レポート



## 農業従事者に向けての補助金の申請は

Q 環境保全型農業直接支払交付金、経営継承・発展支援事業補助金、産地生産基盤パワーアップ事業補助金の申請の流れはそれぞれどのようなになっているのか。

A 環境保全型農業直接支払交付金は町を経由して県や国へ申請を行う。経営継承・発展支援事業補助金は国の補助金ではあるが事業実施主体が一般社団法人全国農業会議所となっているので、県を経由せず、直接、町から全国農業会議所に申請を行う。産地生産基盤パワーアップ事業補助金は町を経由して、県や国へ申請を行う。

## 有害鳥獣対策の 取り組みは

Q イノシシの捕獲実績は昨年と比べてどうか。

A 昨年度の捕獲実績は231頭となっている。平成30年度は54頭、令和元年度は113頭となっており、捕獲頭数は2年連続で倍になっている。



野生のイノシシ

## 全国農地ナビの 利用状況は

Q 農地情報公開システムとは全国農地ナビのことかと思われるが、利用者数は把握しているか。

A 利用者登録等が必要ないため、利用者数の把握はできません。

意見 有用なシステムだが知らない農業者が多いように思える。広く周知していただきたい。



全国農地ナビホームページ

# 生活基盤充実と 利便性向上を

## 公立保育所等の 今後の方向性は

◎ 国の方針では民営化や統廃合の方向で町も検討委員会を設置に至ったと思うが、町として具体的な方向性はあるのか。

また、民営化も含めて検討するのか。

◎ 利用者のニーズが満たされた上で公立の役割を充実させ、保育全体の機能を付加することができると検討し、今後20年ぐらいのスタンスで全体を見ながら町の方向性を考えていきたい。統合や民営化等も含めて、基本的にはゼロベースで検討を行う。



町立大津幼稚園

## 今後のワクチン接種を 円滑に進めるために



◎ ワクチン接種は進んでいると思うが、今後の取り組みとしてフリーダイヤルへの変更や土日の対応などを導入する考えはあるのか。

◎ 土日に役場に電話があった場合は当直職員からの連絡で対応している。

また、現在はインターネットでの予約が中心なので、今後も継続する際には委託内容を考えたい。

# 子育て世代の 地域の

## 移動販売車の 利活用促進に向けて

◎ 移動販売車の販売実績や状況は把握しているのか。また、補助の内容は。

◎ 2号車が8月2日から稼働したが、雨が多く販売目標を下回った。

◎ 今後は情報発信を積極的にを行い、ルートや販売場所も検討するなど販売実績の向上を図りたい。

燃料費等に補助金を交付している。



移動販売車「さくちのまんまGO!!2号車」

# 文教厚生 委員会 レポート

## 不妊治療助成の成果は

◎ 不妊治療を受ける助成は前年度より2倍以上に増加しているが、その要因と周知方法は。

◎ 制度開始から1年が経過したことや、県の助成に乗せる制度のため県の広報や医療機関による個別の案内もあるため認知されてきたと考える。

## 放課後児童クラブ 増員への対策は



放課後児童クラブ「新設されたあひみキッズクラブ」

◎ 利用児童数は今後増加するのか、少し落ち着くのか。また、新設された学童施設について利用児童数は今後増加するのか。

◎ 室小では利用者の増加が考えられる為、事業主に補助金を出している。既在施設を改修し、新設した施設で2クラブ運営できるが、現在は1クラブの運営で、今後は約40人は追加で受入れ可能となる。また大津小学校区でも今年度2クラブ建設予定で増員への対策を図る。

## 修学旅行キャンセル料 への対応は

◎ 修学旅行をキャンセルする判断基準や直前になり陽性者や濃厚接触者と特定された場合のキャンセル料も含むのか。

◎ 県からの通知では、可能な限り実施を検討することとなっているが、子ども達の安全・安心を第一に判断しなければいけない。現時点では、直前に行けない事態になった場合も返金手数料も含め積立額全額を返金する予定である。



# 一般質問

## 町政を問う 9月定例会 一般質問に16名中11名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。今回より一般質問のライブ・録画配信が始まりました。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

### 町民の力を生かした行政サービスの実現へ

#### A 次年度の本格導入に向けて進めていきたい



豊瀬 和久議員



愛知県半田市のマイルポはんだの活用例

道路や公共施設の破損などに気づいた人がスマートフォンアプリを利用して役場に報告することにより、役場は早急に対応ができる。  
この取り組みは、業務の効率化とともに、役場と町民との距離を縮め、町民の力を生かした行政サービスが実現できる。コロナ禍で接触機会を減らす必要もあるため、一日も早く、町民と行政をつなぐオンラインでの連絡体制を構築すべきではないか。

住民の皆様が一番身近な道路で運用を進めれば、公共施設など、活用の拡大を図っていききたい。  
早急に発見して、早急に対応することが、住民サービスの向上にもつながり、住民との協働体制を考える上でも、必要なことだと思ふ。  
住民の皆様がよりわかりやすく報告しやすいものを検討し、次年度の本格導入に向けて進めていきたい。  
(町長)

#### その他の質問

- ・町内にある文化財の保護・保存・顕彰について
- ・文化財ボランティアガイド養成のとりくみについて

### 町民の為にも大津町に総合病院の誘致を

#### A 他地域からの移転で誘致を働きかけていく



山本 富二夫議員

高齢者の方から、今年の初めに、大津町から総合病院が無くなり不便になったと言われた。彼場近くなら便利だが。又人口増加の我が町に町民の為に、総合病院や産婦人科医院があるべきだと思ふがどうか。  
また、総合病院の誘致には、いろいろな意味での制約があるが、町民には大津町に総合病院がないと言ふのは、不満であり総合病院の誘致に対して真摯に取り組んで貰いたい。

総合病院の新設ではなく、他地域からの移転であれば可能と思ふので考えている。機会があれば、国や県に働きかけた。  
近隣の医療機関にアクセスしやすい環境の整備をする。(町長)  
総合病院が町外に移転で通院が不便になった為の交通手段を、乗り合いタクシーの利用範囲の拡大とバス路線の変更を行い、町内から町外に受診環境の整備を行っている。(健康福祉部長)



#### その他の質問

- ・避難所通路の再点検をして欲しい

### コロナ禍での小中学学習体制へ強力な支援を

#### A 現場の危機意識を共有し具体的に対応に当たる



時松 智弘議員

#### コロナ禍における教育現場に対しヒアリングを行い手厚い支援が必要

国及び地方公共団体は、義務教育の機会を保障し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。  
地方公共団体は、その地域における教育の振興を図るため、その実情に応じた教育に関する施策を策定し、実施しなければならない。  
専門的知識を有した人材による支援や教育環境の充実への施策は



ボランティアに依存せず報酬を支弁し質の高い教育環境を維持増進できないか

平成29年に文科省告示があった新学習指導要領が本格施行されたが、小中学校教育現場はコロナ禍の中、苦しい状況に教師と児童生徒は陥っている。  
なぜなら新学習指導要領は大規模感染症対策を想定していないからだ。本格施行後の現場での問題点集約はあるのか。あるならばその時期は、感染症対策やリモート授業を行ったためのICTの専門家の助言のもと教授体制の支援はできないか。指導要領に示す専門性の高い書道等の授業をボランティアに無償で支援させる事なく報酬の支弁も含め適切に実施できないか。  
(教育長)

教育委員会として現場と危機意識を共有して、具体的に対応に当たる。先行研究の成果を町内全小・中学校に広げ、対話を生かした授業改善等に進めていき、タブレットを活用した対話型授業の推進をしていく。  
外部からの講師の招へい等について教職員と地域住民が熟議し、児童生徒育成目標を共有に加え、専門性の高い外部人材の活用で教職員の業務の軽減、教育の質の向上につなげていく。  
高い専門性のあるボランティアの方の活用状況等について、実態把握を行い、必要に応じて、指導改善を図っていききたい。  
(教育長)

#### その他の質問

- ・自衛隊に対する町長の認識と、自衛官募集、防災への協働の推進について

## Q おむつ定期便事業の設立を

### A 子育て世代包括支援センターを軸に支援



山部 良二議員

#### おむつ定期便

3000円相当の子育て用品

3か月～1歳の毎月

アウトリーチ支援(民守リ支援)



おむつ定期便事業

#### その他の質問

・コロナ感染症対策について

Q 就学前人口は平成26年から低下し3年にかけて、年々令和3年に於いて、65歳以上人口がピークを迎える2042年以降、人口減少・超高齢化社会が進んでいく。そのため現在の活力を維持し、若い世代が安心して働き、結婚・出産・子育てしやすい社会環境を実現しなければならない。特に「おむつ定期便」はアウトリーチ型の支援であり虐待やネグレクトなどの発見につながり、見守り支援としても有効な手段。今後、「こどもを核としたまちづくり」を推進していくべきではないか。

A 本町でも、乳幼児数の微減傾向が続いており、様々な子育て支援の取り組みを行うことで、世帯を支えながら町の活力維持していかなければならない。10月から、子育て健康センター内に「子育て世代包括支援センター」を設立し、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談や支援を行う。アウトリーチのオムツ配布も検討するための制度設計と実施は、まだ研究に時間を要します。今後、横断的な見地から議員提案の視点も含めて検討を進めていきたい。(健康福祉部長)

## Q 要綱を整備して応援体制の充実を

### A 今年度中には整備できるよう進める



三宮 美香議員



有志が作成した横断幕

Q 大津町は「夢を持ち夢を育み夢を叶える教育実践」を基本理念とされ、この夢に向かつて頑張る子どもたちの応援はされているようだが、全国大会や国際大会など出場する場合、町をあげて応援する姿勢が見られず残念だという声を聞く。これは応援するため、要綱がきちんと整備されていないためではないか。他自治体では申請すれば町が横断幕を作成したり、町が等身大パネルを設置するなど応援体制が整っている様に見える。大津町も要綱を整備して応援体制を整える考えはないか。

A 要綱等に関して、公金を使う以上その横断幕等も裏づけがないと出することは出来ない。教育委員会と協議しながら、今年度中には整理できるように進める。(町長)

A スポーツ文化、芸術などで活躍されている方々を地域を挙げて応援することは、交流人口増加による経済効果、地域の活性化にもつながることから、今後も教育委員会、関係団体等、協力体制や役割分担を協議し、連携をとりながら支援をしていきたい。(産業振興部長)

A 現在の要綱では全国大会など規定の明記がなく、今後は細かな要綱の整備が必要だと考えている。(教育長)

## Q 「子育て支援日本一のまちづくり」の具体化を

### A 国保税、給食費軽減、国や県に要望していく



荒木 俊彦議員

大津町の国保 子どもへの課税実態 (人数などは2021年8月現在)	
国保加入世帯	3,791世帯
被保険者数	6,626人
うち子ども 18歳以下人数	628人
来年度以降も課税される金額	約1,200万円
子どもへの平均課税額	約19,000円
大津町の就学援助制度認定状況 (2021年度8月現在)	
就学援助認定 人数/世帯	416人/324世帯
うち小学生 268人/197世帯	中学生148人/127世帯
就学援助制度利用率	15.9% (全国平均のみ)

就学援助制度は、申請して認定されないと利用できません。家庭の収入や人数などで基準がありますが、申請が難しいと思われる世帯の方は、まず申請することが大切です。私、荒木も小・中でお世話になりました。

#### その他の質問

・コロナ・猛暑のなか生活困窮者にエアコン設置助成を

Q 町長は子育て支援日本一の公約を掲げられていた。国保・子ども課税問題、国民健康保険は、収入のない子どもにも課税して子育て支援に逆行している。来年度から就学前の子どもに限って税額が半以下になる。この際、町は18歳以下の子ども課税は無くすべきではないか。

② 多子世帯給食費軽減 兵庫県明石市では中学生全員約7000人の給食費無償化。全国3割の自治体が何らかの給食費無償化を導入している。大津町でも兄弟姉妹など多子世帯の二人目から無償化を進めてほしい。

A ① 来年度から国、県と町も一部負担して、未就学児の国保税が軽減される。町としては、国にさらなる負担軽減を要望していきたい。(町長)

A ② 町内小中学校で2名以上の児童生徒がいる世帯は約11000世帯。住民税非課税世帯をはじめとする生活が厳しい世帯に就学援助制度をすすめながら給食費の実質無償化を図ってきたい。多子世帯の給食費軽減は、引き続き国県などの動向を注視していく。(町長)

## Q 管理費に見合った運営を

### A 将来を見据えた在り方の検討を進めたい



田代 元気議員



運動公園競技場

Q 球技場・競技場の天然芝について、年間3000万円以上の管理費がかかっているが、管理費に見合った運営がされていない。また、多目的の広場について利用者の安全を守る観点から建屋等の整備が急務である。

A 高額の管理コストと利用の制約など課題は認識している。並行して、駅新設の検討もある中、エリア全体をどのように

位置づけるのか、町民や各種団体の皆様の意見を伺い、将来を見据えた在り方の検討を進めたい。(町長)

A 熱中症対策も課題である。また、落雷の発生しやすい地形のため、避雷スパーが設けられないか、今後、調査研究を進める。(教育長)

#### その他の質問

・成年年齢引き下げについて

### Q 川の水をきれいにしよう

#### A 町広報等で適正処理方法を掲載している



坂本 典光議員



環境に影響を与える油の例

**Q** 大津町で新しく家を建てるには生活排水を下水道に流すか合併浄化槽で浄化処理するか水路に放流する必要がある。たしかに川は以前より綺麗になったが魚が川に戻ってきたというレベルではない。

**A** 灯油、混合油、廃油等の浄化センターへの流入はなかった。下水道に流せない食用油等については、町内4カ所で回収を行うと共に家庭で処理をする場合には、燃やすゴミとして適切に排出していただくように町広報等で適正処理方法を掲載している。(町長)

**A** 学校教育法において環境の保全に寄与することが目標の一つになっている。教科や総合的な学習の時間で環境教育に取り組んでいる。(教育長)

**Q** 学校トイレに生理用品を常備する

**A** 準備ができる学校から進める

### Q 学校トイレへの生理用品常備を

#### A 準備ができる学校から進める



佐藤 真二議員



「生理の貧困」に取り組む市区町村数と学校・トイレへの配備の割合



内閣府 男女共同参画局「生理用品の貧困を解消する」

**その他の質問**  
・若者のスタートをマイナスからにしないため、将来負担についてどう認識するか。

### Q 大津町小規模企業振興条例制定について

#### A 年度内には制定



面川 秀貢議員



**Q** 現在町内の商工業者数の約7割が小規模企業であり、大津町の屋台骨と言っても過言ではない。中小小規模企業が経済、雇用を支える重要な担い手であり、その成長発展が町民生活の向上に繋がる。その為、この時期だからこそ、町の明確な姿勢を示し一日も早い大津町小規模企業振興

**A** 条例の制定をするべきではないか。

**A** ポストコロナを見据えた上で、町の状況維持向上させる為にも年度内には制定する。(町長)

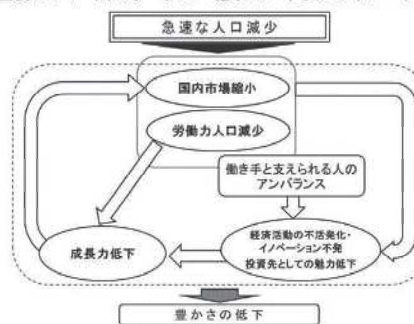
### Q 子育て支援と少子化対策について

#### Q 高齢化対策について



永田 和彦議員

<図表 2-3-1 人口オーナス・縮小スパイラルのイメージ図>



**Q** 以上2点について質問いたしました。町長、教育長答弁

**A** 質問内容を事前にお伝えしますので、執行部が用意した答弁書を基に今まで通りの支援と対策をやりますと答弁されました。よって、進展は見られませんでした。

※時代は変わり大津町議会ではインターネット公開をしています。

議会だより創刊号から全ての一般質問は載っており、町民の代弁者として努力し様々な議論をしてきました。

今後は録画記録がありますので、スマートフォンやPCで議員活動をご覧ください。



若者の視点

# 尚綱大学生によるレポート25

## 大津町議員との意見交換会を終えて

さる10月7日(木)に、大津町議会広報委員会と尚綱大学現代文化学部2年の学生とで意見交換会を行い、議会だよりの編集などについて有意義な話し合いをしました。その後、教室でいくつかの班に分かれてグループディスカッションを行いました。



(↑意見交換会とグループディスカッションの全体風景)

### A班

吉田(文責)  
酒井・谷川・椿・橋本・藤井

#### 〈全体の感想〉

議員の詳しい仕事内容、議員の方々の質疑応答の姿勢から「住民に寄り添おう」という思いが伝わり、議員への偏見を払拭することができた。

「議会だよりの」は住民にとって議会や議員のことを知るよい機会となるため、「議会だよりの」を伝わりやすく作成することは、重要な高い業務であると感じた。

#### 〈印象に残ったこと〉

今年1月に行われた大津町議会選挙では、候補者と定員数が同数になったため選挙が行われず、投票率が0%だったこと。

「議会だよりの」は地域の人々の声を取り入れており、また見やすいように工夫されている。最優秀賞や奨励賞をとったのはうなずける。それでも改善しようとしている姿勢に感心した。

#### 〈意見・提案〉

・学生の投票率を上げるため、大学の一角に投票スペースを設ける。  
・議会の傍聴をお知らせするためのポスター等を制作し、そこに二次元QRコードを掲載しオンラインで視聴できるようにする。

### B班

有村(文責)  
川口・久保田・佐藤・宮本

#### 〈全体の感想〉

・普段接することのできない議員さんとの貴重な意見交換会ができ、有意義な時間を過ごすことができた。  
・議員さんが私たちの質問に真摯に答えていただいたおかげで、

#### 〈私たちの声〉

私たちの政治への関心や興味が高まった。  
・議員さんは、議員の仕事とは別に、他の仕事と兼業していることがとても意外だった。

・幅広い年齢層の人が多く来るショッピングモールを投票場にする事で、多くの人が気軽に投票でき、投票率を上げることができるとは思えないだろうか。  
・男性も女性もまわりのサポートや理解が必要だが、女性はそれがさらに困難である。女性がまわりからのサポートや理解を受けることにより自信をもって立候補することが望まれる。様々な経歴や価値観を持つ女性が議員を職業として選択し、力を発揮すれば社会は変わっていくだろう。

### C班

宮川(文責)  
濱田・宮本・赤峰・西・虎口

#### 〈全体の感想〉

・議員に対するイメージが変わった。  
・自分の住んでいる地域、政治にもっと積極的に関わっていきたいと思うようになった。

#### 〈印象に残った議論〉

・女性議員の少なさについて

女性議員の存在は欠かせないと感じるが、現在の議会が男性社会という話を聞き、これからは候補者を増やすためには周りの偏見から改めていく必要があると考えさせられた。  
・意見交換会の後、女性議員の枠を固定するのはどうかという意見が出た。

・若い世代の投票率の低下、投票率を上げるためにできることについて

若者に選挙を身近に感じてもらうために、学校で生徒会役員の



投票の際などに役場から投票箱を借りて使うのはどうかという意見が出た。  
また、インターネットを使った投票の仕組にすることで、会場への移動の手間が省けるかと思われる。

# 議会を観ての生の声

9月定例会の傍聴者数のべ38人、ライブ配信再生回数664回 録画配信再生回数229回(10/22時点)

## 新しい風が吹く議会の姿に大いに期待

新庁舎が落成しまだ新築の木の香りする議場で、わたくしにとって初の議会傍聴でした。議員各位、町長をはじめ執行部の皆様方は馴染みの顔ぶれながらも、ピンと背筋を伸ばされた凛とした清々しい空気に、議会への意気込みが伺えました。

学校授業のサポーターとして参加させて頂くうち、ふとした疑問から行き詰まりを感じておりましたところ、幸いにも議会で取り上げて頂く事が叶いました。

日々大津町で暮らす中「もう少しこうなれば改善されるのに」と思われる諸々の事柄も諦めず発信することが大事と痛感しました。

住みよい町は、住民の小さな思いの集結から始まるのではないかと、思い新たに議場を後にしました。



おおた まさこ  
太田 雅子さん  
(杉水)

## 将来を見据えた課題解決を

今回初めて大津町議会を傍聴しました。

議員の方々が町民の要望や町の将来を見据えての質問をされており、改めて私たちが生活していく上で様々な課題がある事に気が付かされました。

ただでさえ様々な課題がある上に新型コロナウイルス感染拡大により、難しい問題が山積していますが、町長をはじめとする役場職員の皆様、議員の方々が町政をより良くするために取り組まれている事を感じ、一般質問の大半は対応等に時間のかかる物が多く、経過を確認していく事も大切だと思いました。



なかお けいいち  
中尾 圭一さん  
(引水)

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくするような「アイデア」があればお寄せください。

# 追跡 どうなった？ 一般質問の行方

このコーナーでは、過去の一般質問で議員がおこなった町への提案が、実際にどのように町政に反映されているかを追跡調査してお知らせします。

2020年12月定例会

**質問** 子育て支援に特化した成長戦略を

**答弁** 看護・保育ができる施設の充実に向け、今後も継続して事業者等との協議を進めながら、子育て中の保護者が安心して働ける環境整備を図ってまいります。

2021年3月定例会

**質問** 小中学生の荷物の重さとICT化の期待効果について

**答弁** 今後は学校の状況を聴取しながら、移動式のロッカーなどの検討をしていきたいと考えております。

↓ あれから・・・こうなっています！ ↓

### 病児保育事業が始まる

令和3年9月から、町子育て支援センターで病児保育事業が始まりました。これまでの「病児回復期」に加え、「病児」の児童の預かり保育ができるようになりました。  
※病児保育事業とは、子どもが「病児」や「病児回復期」にある場合で、保育所などに通わせることができず、保護者の仕事の都合などで家庭での養育が難しいときに子どもの預かり保育を行うものです。



携行品に係る配慮事項については、各校長が年度当初の学校運営協議会で説明し、承認をいただきました。その後、携行品の重量調査の結果をもとに、教育委員会が全学校を訪問し、指導・助言を行っています。今後も子どもたちの負担軽減に努めてまいります。



『置き勉』の様子